

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21947
事業名	札幌交響楽団運営補助金					
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課				
	課長名	木戸 拓史	担当者名	藤田 美帆	電話番号	011-211-2261
施策名	主	シティプロモート戦略の積極展開				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	札幌交響楽団の活動を支援することにより、優れた音楽の鑑賞機会を市民に提供する。			
		長期	北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団の活動を支援することにより、本市における音楽文化の普及振興を図り、札幌の魅力向上につなげる。			
	取組内容	北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団が行う音楽芸術普及振興事業を支援するため、その運営費に対して補助金を交付する。				
	実施結果	令和3年度は、オーケストラ演奏会を年間90公演実施し、延べ77,774人の観客を動員した。うち札幌市内では60公演を実施し、65,340人の観客を動員した。				
事業実施における工夫点	特になし					
対象者	公益財団法人札幌交響楽団	開始	昭和36年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例、札幌市補助金等の事務取扱に関する規程					
他都市の状況	多くの政令市では地元で活動する交響楽団に補助金等を交付している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	160,000	160,000	160,000	160,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	162,160	162,160	162,160	162,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	補助金:160,000千円			
	令和4年度予算	補助金:160,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	市内演奏会の開催回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	44回	62回	60回	75回	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	市内公演への観客数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	34,073人	100,000人	65,340人	115,000人	
成果指標2	指標名	協賛金収入			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	34,725,260	32,000,000	24,073,280	37,000,000	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	令和3年度は市内60公演を実施し、市内観客数は65,340人を動員しており、公演回数及び観客数のいずれも前年度の実績を上回り、徐々に回復に向かっている。前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部の公演は中止となったものの、道内唯一のプロオーケストラとして市民に優れた音楽鑑賞の機会を提供することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	本市の補助金は、平成11年度の180,000千円から段階的に削減し、平成17年度以降は160,000千円を維持している。また、北海道の補助金は平成22年度まで削減され、現在は100,000千円となっている。本市補助金の削減は楽団経営に直接影響を及ぼす可能性が高いものの、今後は団体の自立を促し、楽団自らが財政基盤の安定化に向け取り組む必要がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	道内唯一のプロオーケストラとして、本市の音楽文化振興の観点において不可欠な団体である。他都市においても地元や近隣の楽団に対して団体運営や個別事業など様々な形態により補助金を交付し、その活動を支援することで音楽文化の普及振興を図っており、補助金の交付による現在の事業手法は妥当と判断する。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	B	令和3年度末の定期会員数は前年度より減少して1,298件であった。安定的な集客を図る観点からも会員数の維持向上を図り、札幌ファンの増加につなげていく必要がある。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	観客は中高年層の割合が高い傾向にあるため、引き続き青少年向けの事業を積極的に展開するなど若年層へのアプローチを進めることで、観客数の増加につなげていく必要がある。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	道内唯一のプロオーケストラとして優れた音楽鑑賞の機会を提供し、本市の音楽文化の振興と発展に寄与している。楽団運営を安定的なものとするため、引き続き観客の増加に努めるとともに、財政基盤の安定化にも継続的に取り組む必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 本楽団は本市の文化芸術振興を図るうえで必要であるため、今後も本市から補助金を交付し、支援を継続する必要があるものの、団体の自立的な運営を促すため、予算規模については検討が必要である。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 ● 縮小 <input type="checkbox"/> その他 本市補助金の削減は、楽団経営に影響を及ぼす可能性があるものの、団体の自立性を高める自助努力を促すことが必要であることから、補助金額の縮小に向けて検討を進める。		見直し効果額	16,000